

事業所名

障害児通所支援事業 つくし

支援プログラム

作成日

2025年

1月

22日

法人（事業所）理念		障害を持つ本人が生きがいをもち、安心して自立した生活を送ることが出来る地域社会づくり			
支援方針		将来を見据えた支援を考える。小集団の中での成功体験やスモールステップで課題に取り組み達成感を味わい、見守られている安心感を得ながら自己肯定感の高い人を目指す。家庭・学校・他事業所などインクルージョンの視点を踏まえ、関係機関との連携を図り、情報交換を行うことにより個性を活かした活動に結び付けていく。			
営業時間		9時30分から18時15分迄 ※土・祝・長期休みは8時45分から17時30分迄	送迎実施の有無	☑あり    なし	※要相談
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	食事、排泄、整容、着脱、準備片付け、整理整頓、衣類の選択、睡眠、健康、過ごし方（スケジュール）に関するプログラムを実施			
	運動・感覚	微細運動：つまむ、ひっぱる、ひねる、握る、はめる、通す、貼る、塗る、描く、切る、折るに関するプログラムを実施 粗大運動：姿勢、縄跳び、トランポリン、ハンモック、ボール遊び、水・雪あそびに関するプログラムを実施			
	認知・行動	空間・時間・数・感情の概念、色、比較、分類、図形、身体部位、ビジョントレーニングに関するプログラムを実施 スケジュールや時間の視覚化			
	言語 コミュニケーション	行動・感情のコントロール、指さし、ジェスチャー、サイン、手話、言語に関するプログラムを実施 SST、友だち同士の話し合い、遊びのルール決め、発表する機会の提供			
	人間関係 社会性	自己理解・他者理解への支援（感情の視覚化）に関するプログラムを実施 社会体験・地域交流・異年齢交流の機会の提供 就労に向けて作業の機会の提供			
家族支援		支援内容についての説明、参観の機会の提供、保護者同士・兄弟同士の交流の機会の提供、児童の発達・特性に関する状況・成果の報告や相談・助言、福祉制度や進学に関する相談・助言・勉強会の実施、必要に応じて集団または個別に事業所での面談を実施	移行支援	地域社会の中での積極的な活動を推進するため、地域の公園や公共施設を活用した集団活動を行う 学生ボランティアや実習生を受け入れ、交流する機会を作る	
地域支援・地域連携		学校や支援センター、相談支援事業所との連携体制を取り、必要に応じて情報共有、学校等への訪問や事業所への受け入れを積極的に実施し、関係機関との会議に参加し児童の心身の状況や生活環境等の情報を共有	職員の質の向上	定期的な会議、職員会議の実施 職員の各種勉強会や研修への参加	
主な行事等		季節の行事（ハロウィン、クリスマス、水遊び、雪遊び）    季節の制作活動    年2回の保護者会    年1回の親子活動（兄弟参加含む）    年1回の事業所全体のイベント			